

# エコシステム調査 (マレーシア)

2018年12月

ジェトロ・クアラルンプール事務所

# 目次

## 1. 総論-マレーシアのエコシステムの現状

- (1)エコシステム形成の目的
- (2)政府等エコシステム形成に主要な役割を果たした機関の施策、優遇措置等
- (3)エコシステムのイメージ図（主要なプレーヤーとその関連性を図示）
- (4)スタートアップ振興を図る上でのマレーシアの課題
  - (4)-1:全体的課題
  - (4)-2:具体的課題
  - (4)-3:【参考】整備状況

## 2. 各論-エコシステム関係者のリスト

- (1)スタートアップの概要、代表的なスタートアップとその特徴
- (2)アクセラレーターの状況、代表的なアクセラレーターとその特徴
- (3) VCの状況、マレーシアにおけるVCの総数
- (4) アジア系スタートアップ企業の成功事例
- (5)主なスタートアップ向けイベント情報

# マレーシアの エコシステムの現状

2018年12月  
ジェトロ・クアラルンプール事務所

## (1) エコシステム形成の目的

「国家目標を達成させること」、「経済成長を波及、連携させること」が  
マレーシア政府が掲げるエコシステム形成の目標

### 国家目標の達成

- 高所得国になる(中進国からの脱出)
- 社会レベルを向上させる

### 経済成長の波及、連携

- 起業家を創出する
- 大企業を巻き込む
- 教育機関と連携する
- 投資を集める
- 政府が先導する

(1) エコシステム形成の目的 (国家目標の達成)

# イノベーションで高生産性をもたらし、中進国を脱する

マレーシアは長期経済政策として1991年に、マハティール首相が「Vision2020」政策を掲げ、マレーシアの目標を2020年までに先進国の仲間入りを目指した。この政策を掲げたときはまだ1人当たりGNIでは低所得国であったが、その翌年には中所得国へと前進した。

世界銀行の基準は、中所得国の中でも1人当たりGNIによって低位中所得国と高位中所得国に分類されているが、マレーシアは低位中所得国をわずか4年で通過し、高位中所得国へと突入した。この勢いが続けば政策は2020年には成功をおさめると言われていたが、アジア通貨危機の影響で1998年から2003年の5年間、一度低位中所得国へ陥落した。

2004年に再び高位中所得国へ戻ったマレーシアには勢いがあったが、その後は高位中所得国にとどまっている。

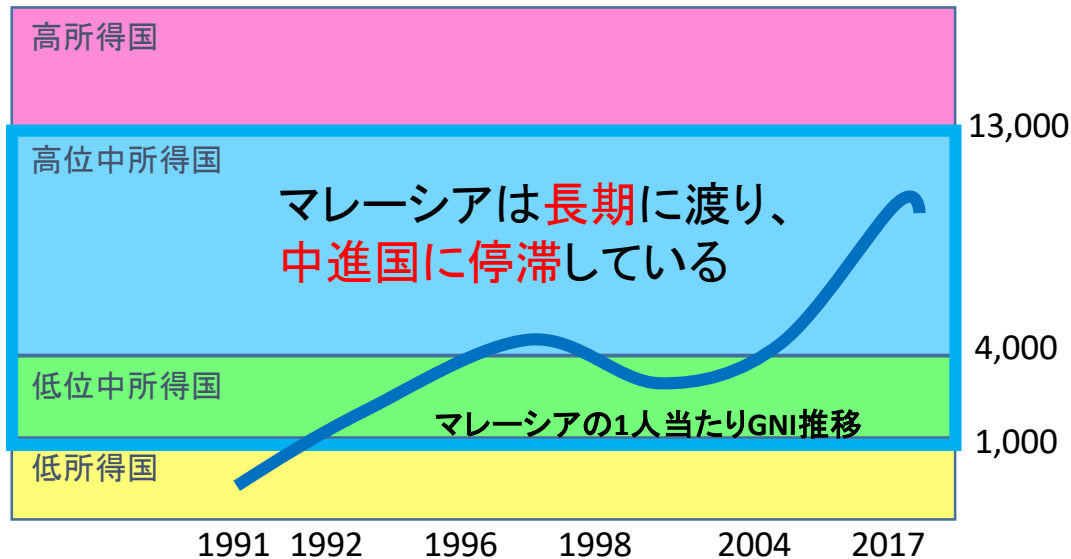
2009年にナジブ政権に変わり、新たな長期経済政策NEM (New Economic Model for Malaysia) が発表され、ここでナジブ首相は「中所得国の罠」に陥っていると認識した上で、この罠から脱出し再び「2020年までに先進国になる」ことをビジョンとして掲げた。その具体策の1つとして、**イノベーションを起こし高度産業へ国全体をシフトさせる**ことで1人当たりGNIが上がり先進国入りができることと謳っている。

2018年に誕生したマハティール政権もデジタル経済の促進を目指す。高所得国入りの目標は4年先送りされている。



## マレーシア1人当たりGNI値分類

単位: US\$



## 中進国脱出に必要な要素

国民の利益	<ul style="list-style-type: none"> <li>高所得</li> <li>包括性</li> <li>持続性</li> </ul>
産業の利益	<ul style="list-style-type: none"> <li>投資家が富を得る平等な環境</li> <li>事業継続の<b>効果的なエコシステム</b></li> <li>投資と成長を促す<b>効果的な市場</b></li> </ul>

出典: [https://www.jcci.or.jp/NEM%20for%20Malaysia%20-%20Part%20I\\_0.pdf](https://www.jcci.or.jp/NEM%20for%20Malaysia%20-%20Part%20I_0.pdf)

(1) エコシステム形成の目的 (国家目標の達成)

# 教育水準の向上により、文化的・経済的な水準を底上げする

高度人材がマレーシアに流れ込み、彼らがマレーシア人に高度技術を移転することでエコシステムが形成される。高度産業分野の雇用が増え、政府の能力開発援助を通して国の教育水準や中小企業の価値水準が上がる。彼らはエコシステムのイノベーションが作り出したサービスを楽しみ、これまでにしたことのない経験をすることで、先進的知識や教養がさらに身についていく。

## 活用可能な6つのチャンスを駆使し、社会的課題を解決

### 6つのチャンス



**簡単にビジネス開始可能**  
SSM企業申請手続きなど、以前より企業し易い環境に整備



**スマートフォン普及率70%**  
2018年2月13日マレーシア通信マルチメディア委員会(MCMC)公表資料では、マレーシアの携帯電話普及率131.8%、ブロードバンド普及率84.5%。



**多文化社会に対応**  
多文化に対応した製品が大規模で生産可能



**安価なオペレーションコスト**  
為替レートにもよるものの、隣国より比較的安価



**政府の支援的政策豊富**  
支援機関と連携して、投資家や起業家に助成金や免税政策を用意



**戦略的立地条件**  
マレーシアは隣国から2-3時間、アジア諸国にも4-6時間と好立地

### 社会的課題



**貧困**  
マレーシア国民の0.5%、145万世帯が月収500RM以下である



**教育水準向上**  
2012年のPISA調査の段階では、44位中39位と世界水準を下回った



**地方格差**  
月収5,000RM以上の世帯は地方では14%(都市部は41%)



**地球環境サステナビリティ**  
マレーシアのエネルギー源は94%が化石燃料である



**雇用**  
国内40万人の求職者が未だに失業中である



**炭素排出量**  
2012年時点の一人当たり二酸化炭素排出量は7.67mトン

(1) エコシステム形成の目的 (経済成長の波及、連携)

## 経済成長の鍵となる、起業家を創出する

マレーシア政府が本腰を入れてエコシステム形成に着手したのは、2013年に第4回グローバル・アントレプレナーシップ・サミットがクアラルンプールで行われたことにある。GESでは、起業家精神を反映させた4つの柱を掲げており、翌年マレーシアはMaGIC(マジック: マレーシアグローバルイノベーション&創造センター)を設立することとなる。

2013年



### 起業家精神を反映した4つの柱

1. 起業家エコシステム形成
2. 未来の新しい可能性を創造
3. トレンドを創り出す
4. 成長に結びつける

2014年



### 経済活動の促進: 起業家の開発

73. ハディース(イスラム教の標準として定められた生活様式)によると、生活の9割が事業の継続にある。若い起業家を育成し社会人として成功を収めることがそれにあたる。

**政府は起業家の開発に全力を注ぐ。**

74. **起業家開発の助けとなるようなエコシステムを提供する**

75. 最近の第4回グローバル・アントレプレナーシップ・サミットでMaGICの設立を発表した。MaGICがその目的を達成するために、政府は5千万リングットを割り当てる。

(1) エコシステム形成の目的 (経済成長の波及、連携)

## インキュベータ、VCとして大企業を巻き込む

マレーシアの大企業がインキュベータやベンチャーキャピタルとしてエコシステム形成へ参入することで、起業家はより多くのスタートアッププログラムを選択でき、資金も集めることができるようになる。大企業は新規事業や事業アイデアを自前で調達するだけでなく、起業家にビジネスを加速させ、M&AやIPOなどのイグジットを結果として享受する。




**Sun SEA Capital**




マレーシアの大手ディベロッパーであり、グループ内に教育・研究開発機関も持つサンウェイが、シンガポール拠点のVC、KKファンドとデジタルスタートアップを対象に2018年7月、5千万USDルのファンドを設立

<http://sunseacapital.com/>



**HLB LaunchPad**

**HLB LAUNCHPAD ACTIVATE 2018**

マレーシアを拠点にSEA諸国へ展開するホンリオン銀行は、テクノロジー分野に注力した起業家支援も行なっている。最新テックやビッグデータを扱うフィンテックスタートアップと自社の事業開発の一助の両得プログラムを用意。賞金RM50,000。

<https://www.hlb.com.my/hlblaunchpad/>





携帯キャリアであり、インターネットサービスプロバイダーでもあるディジは、コタキナバルを拠点としてアクセレレータプログラムを開催している。MaGICやUberと協業したワークショップや起業家のビジネスを支える創造ワークショップを展開。

<http://www.digi.com.my/incub8/index.html> 8



(1) エコシステム形成の目的 (経済成長の波及、連携)

## 研究開発・人材育成において教育機関と連携する

### 2017年以降スタートアップエコシステムへの期待



**テック分野での強い成長**  
機械学習やAI, IoTなど



**さらなるイノベーション**  
スタートアップ起業家は、よりイノベティブな事業を開発

**MaGIC**

(マレーシア・グローバル・イノベーション  
創造性センター)

始動にあたり、MaGICは**スタンフォード大学**とUPグローバルとの覚書を締結し、マレーシアのこれからの未来に向けて、活気あるスタートアップエコシステムを育成し、開発することになりました。



<https://mymagic.my/about/>

**SMECORP**  
MALAYSIA

SMECorpのインターンシッププログラムは、政府による産業と大学のシナジーを高める取り組みの一環として、規模と能力アップのために**中小企業と大学を結びつける試み**が2008年に導入されました。

**マレーシアのすべての公立大学**にこのプログラムを展開するため、SMECorpマレーシアと、高等教育省\*との間で覚書(MoU)が締結されました。

\*高等教育省は、2018年5月に行われた第14回総選挙による政権交代後、教育省に合併された。

<http://www.smecorp.gov.my/index.php/en/programmes/2015-12-21-09-53-14/sme-university-internship-programme>

(1) エコシステム形成の目的 (経済成長の波及、連携)

# 個人投資家や世界的企業の投資を集める

## 2017年以降スタートアップエコシステムへの期待



**投資型クラウドファンディング**  
事業資金のファンドを用いて強い成長を続ける



**起業家認知**  
政府は世界的企業に向けて、起業家を周知する



**合併・買収**  
スタートアップからの成長事業が大企業に買収や合併され、結果を出す







**さらなるインセンティブ**  
政府はベンチャーキャピタルやエンジェル投資家にさらなる拍車をかけ、マレーシアのスタートアップにより多くの投資を促す

出典: MaGIC Publications : Ecosystem+Report+V16-Pages.pdf

経済成長の連携:

## 政府が先導する

### 5省庁が主にエコシステム形成に参画

Ministry of Finance 	Ministry of Energy, Technology, Science, Climate Change And Environment <b>MESTECC</b>	Ministry of International Trade and Industry 
Ministry of Communications and Multimedia 	Ministry of Domestic Trade and Consumer Affairs 	

## (2)政府等エコシステム形成に主要な役割を果たす機関の施策、優遇措置等

マレーシア政府は、政府機関を設立し、エコシステムを積極的且つ俯瞰的に先導している。政府はエコシステム成長の予算を組み、政府機関を通してスタートアップ企業はそれを享受できる仕組みができています。



## (2)政府等エコシステム形成に主要な役割を果たす機関の施策、優遇措置等

### スタートアップ全般



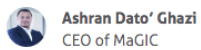
2014年に発足したマジック:MaGIC(マジック:マレーシアグローバルイノベーション&創造センター)は、財務省(MOF)管轄の政府機関である。エコシステム形成の施策や優遇措置を多々用意しており、あらゆるスタートアップ企業の窓口として、支援を展開している。



Ashran Dato' Ghazi  
CEO of MaGIC

近年、マレーシア政府は積極的に起業家のためのインフラを整備しています。起業のための創造とイノベーションには競争市場に参入できる強さが必要なのです。

“強靱で持続的な起業生態系(エコシステム)の発達、世界的競争力を維持する国が持つ経済的要素である。”



Ashran Dato' Ghazi  
CEO of MaGIC

※Ashran CEOは2018年12月12日で退任。  
後任は未定(2018年12月4日時点)

### 施策・優遇措置には4つの柱で対応

**啓発** 起業家は積極的に世界を変える！

- PROGRAMME  
**MaGIC IDEA**
- PROGRAMME  
**Social Enterprise Ventures**
- PROGRAMME  
**Impact-Driven Enterprises**

**開始** 企業と起業家をつなぎ創造の協力を！

- PROGRAMME  
**MaGIC Activate**
- PROGRAMME  
**Corporate Entrepreneurship Responsibility**

**学び** 自分をスキルで満たしゴールへ！

- PROGRAMME  
**Educ8**
- PROGRAMME  
**Mentoring**

**成長** あなたのビジネス成長を加速させよう！

- PROGRAMME  
**Global Accelerator Programme (GAP)**
- PROGRAMME  
**MaGIC IDEA Accelerator**
- PROGRAMME  
**Pre-Accelerator Bootcamp**
- PROGRAMME  
**e@Stanford**

## (2)政府等エコシステム形成に主要な役割を果たす機関の施策、優遇措置等

### IT系スタートアップ



コミュニケーション&マルチメディア省(KKMM)の管轄で機能しているMDEC(エムデック:マレーシアデジタルエコノミーコーポレーション)は、国家プロジェクトであるマルチメディア・スーパーコリドー(MSC)計画や、政府発行の法令に準じた様々な**税制上の優遇措置**における実務を行っている。

### 4つの機関による施策・優遇措置



1996年に当時のマハティール首相により原型が発足して以来、地場産業に直接投資し、**最新のデジタル化と創造社会をマレーシアにもたらず**事を使命としている。

2011年になり守備範囲を広げ、2020年までに**マレーシアをデジタル経済国家に導く**使命も委任された。

デジタルマレーシアは、**強靱なエコシステムを作り上げると同時に**、政府・企業・市民が一体となって、**ICT産業にて持続可能なデジタルエコノミーを作り上げる**ことを課題としている。



### MSCステータス

IT企業を対象としたMSCステータスに認定されると、**政府からのインセンティブ、優遇措置が受けられる**。MSCステータスを持つ稼働中企業は2018年2月現在3,241社を超え、470億リングの歳入、16万人以上の雇用を生み出している。



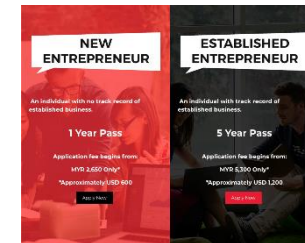
### MSCスタートアップ

MSCステータスの中でもスタートアップ企業のためのステータス(称号)で、2015年に開始。**審査は厳格だが通過すればインセンティブや免税などの優遇措置が受けられる**。MaGICもこの施策に関わっている。



### IT起業家計画

テックビジネスを始め際、新規起業は1年、起業済み起業は5年の滞在・就労**ビザが発行される**(発行元はMDECか入国管理局)。



### デジタルハブ

マレーシア・スタートアップエコシステムの一部となることをスローガンに、**コワーキングスペースを提供**。100Mbps以上のネットワークだけでなく、**基金やテスト投資が受けられ格安でビジネスを始められる環境も提供**されている。

## (2)政府等エコシステム形成に主要な役割を果たす機関の施策、優遇措置等

### スタートアップ→中小企業



マレーシア国際貿易産業省(MITI)傘下のSME(エスエムイー:スモール&ミディアムエンタープライズ)コーポレーションは、マレーシアの中小企業のための**インフラ整備、資金援助、アドバイザーサービス**や情報を提供している。

※中小企業の定義: 製造業は売上高500万リンギ以下、200人以下の雇用。  
サービス業は売上高200万リンギ以下、正社員数75名以下。

### 施策・優遇措置(一部)

#### 中小企業競争力強化格付け



#### 中小企業向けソフトローン



#### CEO養成大学



#### 資金援助施策



#### 施設・市場アクセス提供



#### 中小企業 財政支援・能力強化



### 中小企業は経済の背骨

マレーシアでの事業設立  
企業のうち

**98.5%**



が、中小企業です



サービス業  
**89.2%**



建築業  
**89.2%**



農業  
**5.3%**



工業  
**5.3%**



鉄鋼業  
**0.1%**

このほかにも

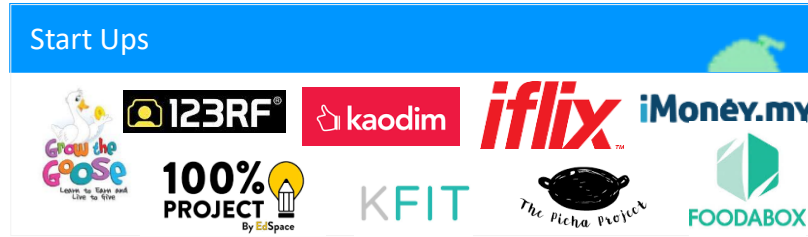
- ・ブミプトラプログラム、
- ・女性起業家向けセッション
- ・大企業との  
ビジネスマッチプログラム  
等、多岐にわたった施策あり

出典: <http://www.smeCorp.gov.my/index.php/en/>

### (3)エコシステムのイメージ図

起業家を主体として、事業を起こすにあたって投資家からの資金調達、企業・団体の経済的技術的支援、政府のインフラ整備や予算割り当て、そして教育機関におけるアントレプレナー育成という5つの柱が、エコシステムを創造するために不可欠な中核となっている。

マレーシアのエコシステムを創造するために必要な5つの柱は、政府中心に整備されている。政府各省庁は政府機関を設立し、運営を委任している。



出典：  
Startup Genome : Global Startup Ecosystem Report 2018  
<http://gecommunity.co/documents/MalaysianInnovationSuperclustersReport06122017.pdf>  
MaGIC Publications : Ecosystem+Report+V16-Pages.pdf  
<https://magiccentral.userecho.com/knowledge-bases/2/articles/148-magic-durianscape-malaysias-startup-ecosystem>

# (4)スタートアップ振興を図る上でのマレーシアの課題

## (4)-1 : 全体的課題

### ユニコーン企業不在

右図は2017年9月18日時点で、10億米ドル以上の企業価値＝ユニコーン企業となった、米国以外で興った106社である。  
マレーシアに拠点を置いているユニコーン企業はこの時点では存在しない。

#### 【解説】

- 10億米ドル以上の企業価値を持つ米国以外の企業は2017年9月時点で106社
- Grabがシンガポールに拠点を移して以来、マレーシアからは一社も輩出できていない
- 次の10年で、マレーシアは5～10社のユニコーン企業を輩出することを目標にエコシステム整備を推進している

## WHERE ARE MALAYSIA'S UNICORNS?

International unicorn club: 106 private companies outside the US valued at \$1B+ as of 9/18/2017



Source: CBINSIGHTS



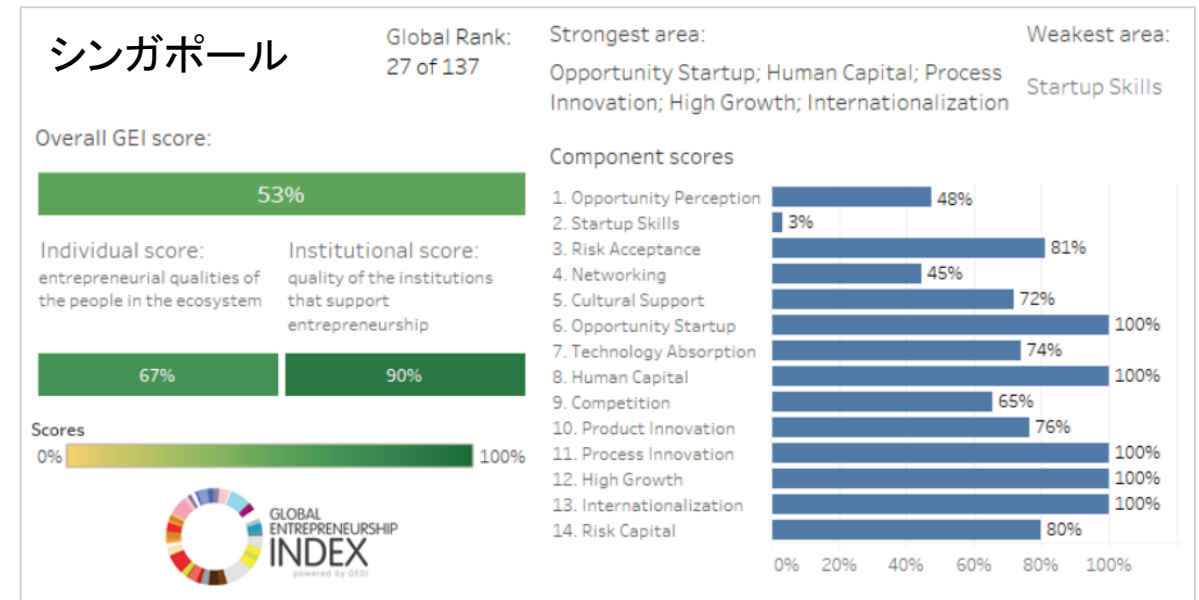
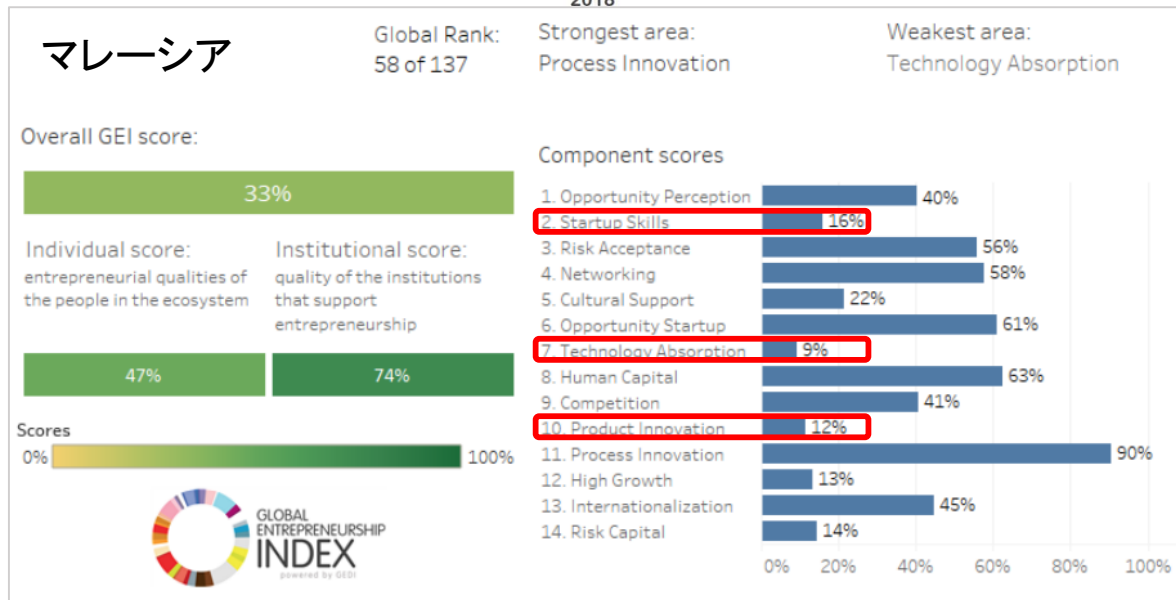
# (4)スタートアップ振興を図る上でのマレーシアの課題

## (4)-1 : 全体的課題 起業家のレベルアップ

2018年のGEDI(国際起業家インデックス)によると、参加137カ国・地域中マレーシアは58位である(日本は28位)。シンガポール(27位)とその内訳を比較すると、マレーシアの課題は、起業家たちのスタートアップスキルや技術吸収力など人的資本にあると言える。また、生産過程でのイノベーション力はかなり整備されている一方で、製品そのものを創造する力が今一歩及んでいない。



### グローバルアントレプレナーシップインデックス2018 by GEDI



## (4)スタートアップ振興を図る上でのマレーシアの課題

### (4)-2 : 具体的課題 高度人材不足

エコシステム形成に必要な最大の資本である高度人材がマレーシアになかなか集まらない。拠点を早々にマレーシア国外へ移したり、海外の大学を卒業したマレーシア人が海外で起業するなど、帰国し起業するに至らない。また、人とのつながりが未だ形成段階であり、重要人物との出会いや結びつきが弱い。



#### 高度技術能力者不足

高度な技術能力を持つ者たちは、より良い環境やチャンスを探しに海外進出してしまい、マレーシアに残って起業をするに至っていない。



シンガポールへ移転



オーストラリア企業に買収



#### マッチする人材、潜在能力をもつ 人材にアクセスできていない

特に社会問題解決のため起業した創始者たちは、その道に精通した能力を持つ人材に巡り会えておらず、また人材も不足している。

出典 : MaGIC Publications : Ecosystem+Report+V16-Pages.pdf



#### 創始者、専門家、投資家の 結びつきの弱さ

GSER2018の調査結果によると、マレーシア(クアラルンプール)のスタートアップによるエコシステムには、起業家や創始者が専門家や投資家とタイアップできている指数が3.4と、世界平均指数4.9を下回っている。

#### Local Connectedness

Sense of  
Community Index

3.4

Global Avg: 4.9

出典 : Startup Genome : Global Startup Ecosystem Report 2018

## (4)スタートアップ振興を図る上でのマレーシアの課題

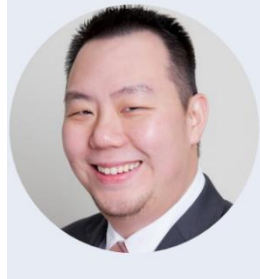
### (4)-2 : 具体的課題 資金

ベンチャーキャピタル社数や大企業のCVC、一般投資の参入が十分とは言えない。



### マレーシア発スタートアップへの 投資サイズが比較的小さい

Jonathan Lee of MaGIC



MaGICのジョナサン リー氏

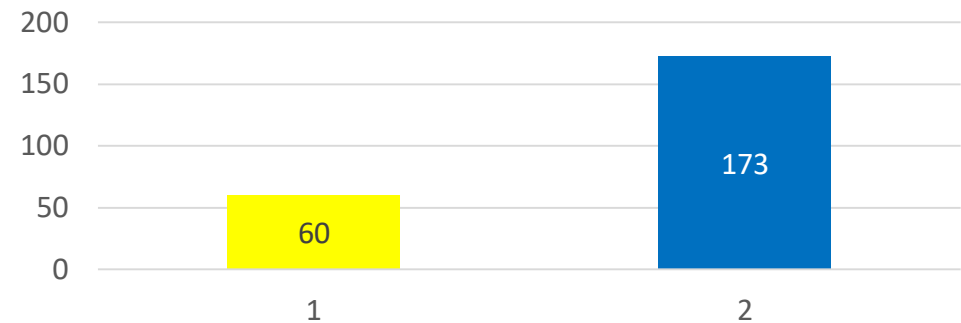
1社あたりの投資額平均が低いのは、ベンチャーキャピタルやスタートアップ企業が成長に必要な金額についてより精通するようになったから。ベンチャーキャピタルはリスクを減らすために小さめのサイズへの投資をしている。

出典 : MaGIC Publications : Ecosystem+Report+V16-Pages.pdf



### マレーシアVC、CVC社数は増加途上

2018年8月現在VC社数



出典 : <https://www.sc.com.my/wp-content/uploads/eng/html/licensing/LoLI/VCMC.pdf>

出典 : <https://jvca.jp/members/vc-members>

## (4)参考:スタートアップ振興を図る上でのマレーシアの整備状況

### (4)-3 : 整備状況 政府資金

マレーシア財務省は、1996年発足のMDECや2014年発足のMaGICを通じて、デジタル/スタートアップエコシステムに毎年かなりの予算を割いている。



#### 政府はエコシステム形成に潤沢な予算を投入

#### マレーシア財務省の年度予算割当

単位:リンギ

MoF予算	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
MaGIC	5,000万	3,200万	3,500万	-	-
MDEC	-	-	-	1億6,200万	1億

出典: <http://www.treasury.gov.my/pdf/budget/speech/bs14.pdf> - bs18.pdf

# (4)参考:スタートアップ振興を図る上でのマレーシアの整備状況

## (4)-3 : 整備状況 ファシリティ

世界中のコワーキングスペース検索エンジン、coworker.comに登録されているマレーシア コワーキングスペースは、  
2018年7月現在**104**店舗(東京は93店舗)。

### ロケーション

クアラルンプールや南西のセランゴール州に続々と建設されつつある。まだ少数であるが、ペナンやジョホールにも設立が見られる。コワーキングスペースという名称だけではなく、シェアオフィス、サービスオフィスの展開も始まっている。

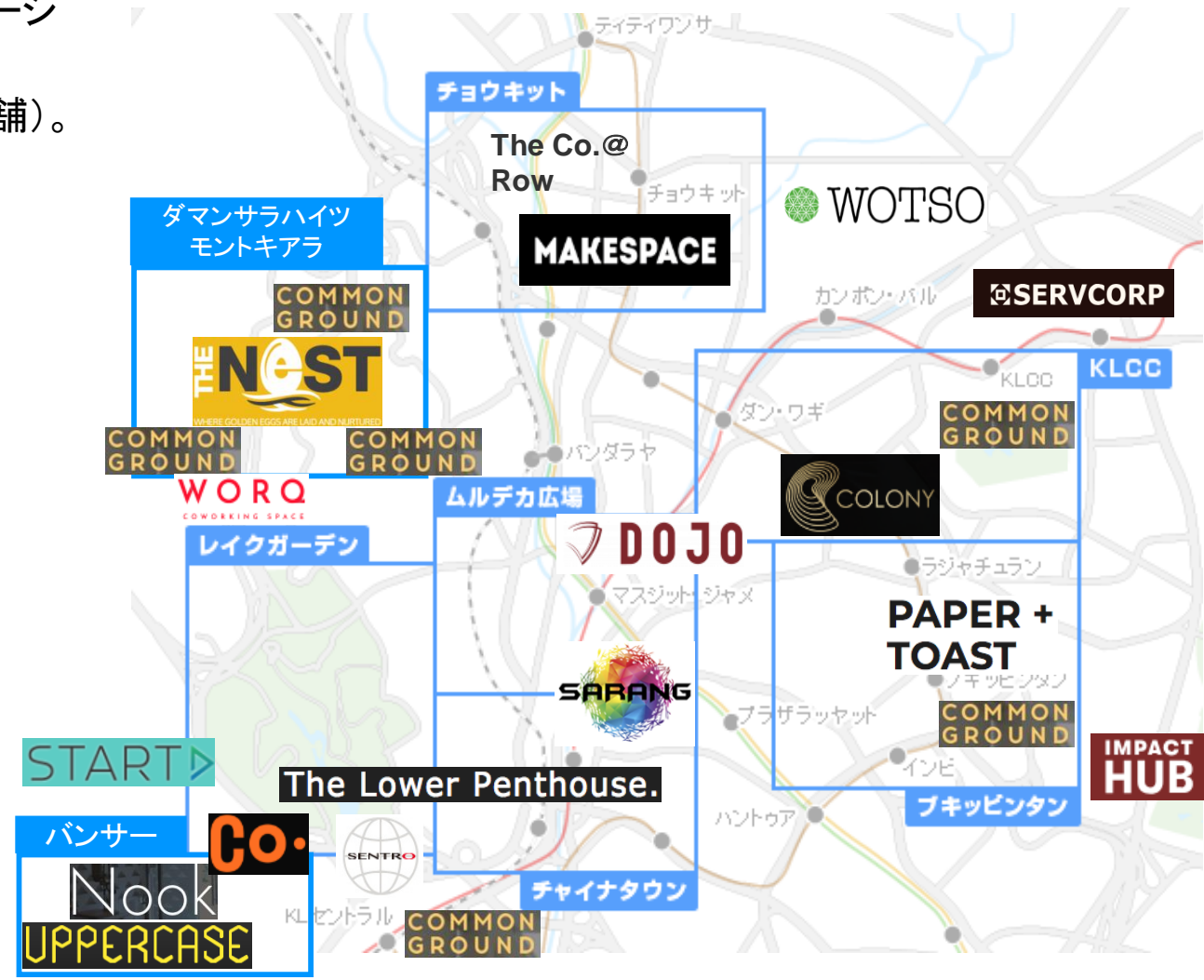
### 環境

マレーシアらしく、**多国籍人種や文化がミックスされたコミュニティ形成の場**となっている。MDECによる**MSCステータスにスタートアップを推薦**可能なスペースもあれば、多くの**イベントを開催**しマッチメイクチャンスのある店舗、**アドバイザーサービス**が充実している店舗などもある。

### 設備

固定席・自由席・イベント/会議スペース・パントリーはどの施設も完備されており、高速回線、郵送物授受など**ファシリティは全く問題ない**。リラックスできる空間や、子供が時間を過ごせるスペース、ヨガやサルサレッスンなどを開催する店舗もある。

## クアラルンプールのコワーキングスペース



# (4)参考:スタートアップ振興を図る上でのマレーシアの整備状況

## (4)-3 : 整備状況 情報充実

マレーシアは日本ほどキュレーションサイトは発達していないが、メディア各社ウェブサイトニュースが充実している。シンガポールやマレーシアで発足したメディアたちは、スタートアップやテックニュースを中心に、その守備圏をアジア圏へと広げている。シンガポールのニュースサイトも、多くのマレーシア情報を掲載している。



### 主なASIA圏デジタルニュース



2014年シンガポールにて発足。  
東南アジア圏へ投資家情報



2007年シンガポールにて発足。  
アジアのテックエコシステム情報



2010年マレーシアにて発足。  
国内政治経済情報



2012年マレーシアにて発足。  
アジアのテックエコシステム情報



Oath(US本社)の1ブランド。  
テックニュース、ゲーム情報



2011年シンガポールにて発足。  
アジアのテックエコシステム情報



シンガポールにて発足。アジア圏  
のテックやライブブログ的情報



2014年マレーシアとシンガポール  
にて発足。  
事業と投資に係る情報サイト

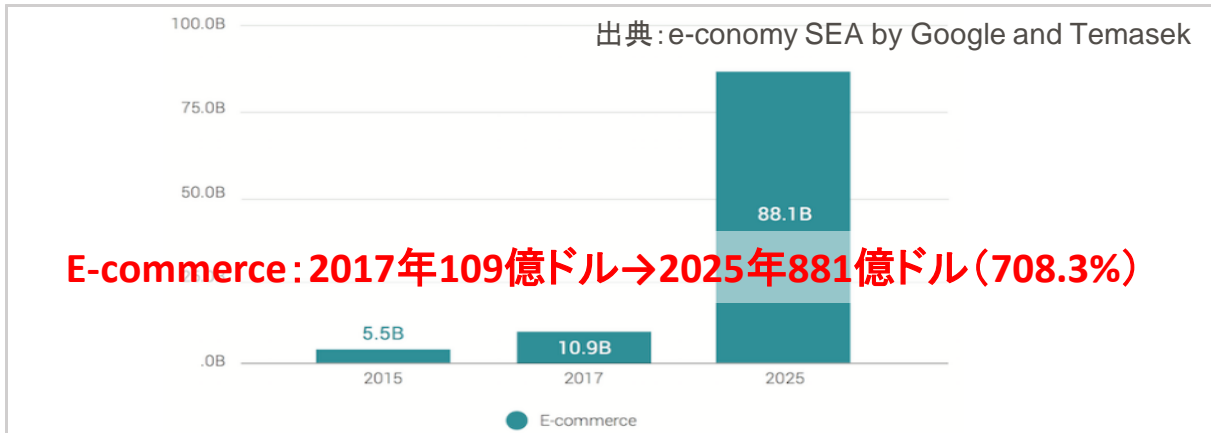
# マレーシアのエコシステムの 具体的現状

# (1)スタートアップの概要、代表的なスタートアップとその特徴

ECOMMERCE・ヘルスケアが多い

ECOMMERCE分野では、大企業を競合にスタートアップが多数興っている。高度技術を必要とするAI、VR、ARにおけるスタートアップは少数派。医療観光地を狙うマレーシアならではのヘルスケア・オンラインサービスも頭角をあらわしている。

## 東南アジアのEコマースは急成長が見込まれる



## マレーシアを東南アジアのECOMMERCEデジタルハブに

マレーシアは2016年からECOMMERCE拡大に動いており、2017年3月にデジタルフリートレードゾーン(DFTZ)建設を発表した。DFTZの戦略投資家でもあるアリババのジャック・マー氏をマレーシアのデジタルエコノミーアドバイザーに招き、2020年までにクアラルンプールにデジタルハブを建設する。



## マレーシア発代表的スタートアップ





# (1)スタートアップの概要、代表的なスタートアップとその特徴

## On-line to Off-line(O2O)

ダーマカン：特徴あるオンラインフードデリバリー

dahmakan.

一般的な「店舗から顧客へ食品を運ぶ」フードデリバリーとは少し違い、「自社で調理した食品をウェブサイトで受注し顧客へ届ける」サービスモデルが特徴。「ヘルシー」にこだわっていることも人気の理由である。  
2017年に260万ドルのファンドを獲得している。

<https://dahmakan.com/kuala-lumpur/food-delivery>

## ロジスティクス

ザ・ロリー：サービスをユーザーが選べるオンデマンド型運送サービス

マレーシアからシンガポールまで守備範囲を広げ、個人から法人まで顧客を抱える。引っ越し運送サービスのみならず、家具廃棄まで請け負う。まず配送車のサイズを選び、次にオプションとしてのマンパワーや荷造りサービスを選ぶ手順が興味深い。



<https://thelorry.com/>

## フィンテック

アイマネー：3人から始まったスタートアップが150人規模企業に成長

iMoney.my

東南アジアで最大規模の金融比較サイト。ユーザーはクレジットカード作成やローンを組むときに、サイトで自分に合った金融機関を探し出すことが可能。これまでに日本、シンガポール、米国、オーストラリア、欧州などから1,000万ドル以上のファンドを獲得してきた。

<https://www.imoney.my/>

## (2)アクセラレーターの状況、代表的なアクセラレーターとその特徴

### 多くのプログラムが実施

政府機関のMaGICは、起業初期段階から加速段階まで多くの範囲をカバーしたプログラムを実施している。クアラルンプール市に隣接するセランゴール州では、MaGICだけでなく州政府主催や一般企業主催のアクセラレータプログラムも実施されている。

MaGIC

MaGIC  
GLOBAL ACCELERATOR

Global Accelerator Programme (GAP)

4ヶ月で投資準備ができるよう設計されたASEANでの形成を視野にしたプログラム

MaGIC  
IDEA

Impact Driven Enterprise Accreditation (IDEA)

公私団体からの調達をも巻き込み、全体をシフトチェンジさせるためのプログラム

MaGIC  
e@STANFORD

2016年より3年間のパートナーシップを結んだMaGICとスタンフォード大学の起業家育成プログラム。

MaGIC  
ACTIVATE

企業から課題を管理し、起業家たちが課題解決に参加することでイノベーションを体験するプログラム。これまでに11チャレンジが終了した。



セランゴール・アクセラレータ・プログラム  
(州政府主催)

AI、ブロックチェーン、IoT、スマートシティ、Eコマースを目指す起業家たちを募集し、ステージ1から6までのプロセスを、4ヶ月かけてこなすプログラムを実施。旅費やワークスペース、賞金まで用意されており、50人以上のメンターたちが、相談に乗り、知識を共有してくれる。



サンウェイ・アイラボ・アクセラレータ・プログラム  
(企業・大学主催)

大手ディベロッパー、サンウェイが研究開発としてスタートアップを支援するプログラムを開催。200社以上の応募から一次選考、二次選考を経て最後に7社がデモデイでのプレゼンを実施する。サンウェイだけでなくGoogle Cloudなどパートナー企業もサポートに参加している。

1337 Accelerator 1337アクセラレータ・プログラム  
(一般VC企業主催)

ベンチャーキャピタルとしてスタートアップに投資する一方で、アクセラレータ・プログラムも実施している。またプレ・アクセラレータ・プログラムも設けており、無料ブートキャンプや5日間のキャンプののち、資金提供プログラムへの入会ができる。

### (3)VCの状況（マレーシアにおける VC の総数）

#### 政府系VCによる先導



Malaysia Venture Capital Management Berhad

マレーシア政府が2001年に創設した、マレーシア最大のベンチャーキャピタル。財務省が所有している。ICT、デジタル系スタートアップや新興企業を主なターゲットとし、米国や中国のVCと共同でファンドも形成している。

出典: <http://www.mavcap.com/>

セキュリティーズコミッションによる、

2018/07/31時点での稼働中マレーシアVC企業数: **60**



1993年証券委員会法に基づいて設立されたセキュリティーズコミッションは、財務省へ調査結果を報告する、調査執行権限を持つ自己資金調達法定期間である。

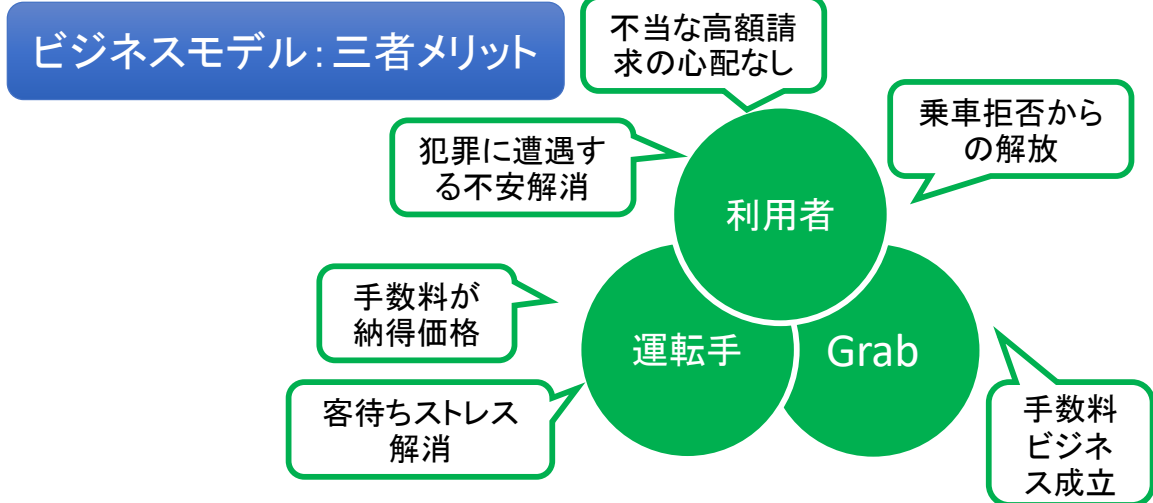
出典: <https://www.sc.com.my/wp-content/uploads/eng/html/licensing/LoLI/VCMC.pdf>

# (4)アジア系スタートアップ企業の成功事例



ソフトバンク、バーテックスベンチャーズから資金調達

”マレーシアのタクシーの品質問題”という課題からGrabの前身 MYTEKSI を起業



**ビジネスモデル: カイゼン**

粗悪ドライバー



- ユーザーが乗車後ドライバーを★で評価
- ユーザーは評価の高いドライバーだけを選べる

自主的に優良ドライバーを目指す



エキスペディア、グローバルファウンダーズから資金調達

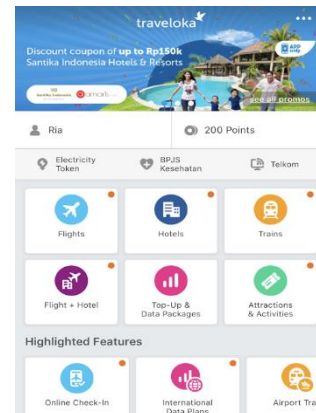
インドネシアのスマホ利用者急増に”モバイルファースト”アプリを

**ビジネスモデル: 需要に合わせてUser-friendly**

インドネシアのモバイル普及率はSEA(東南アジア)の中で一番高い。



出典: e-economy SEA by Google and Temasek



需要に合わせて、スマホでの航空チケット利用を前提にしたアプリ設計。検索が簡単で比較しやすい、ユーザーフレンドリーなアプリとして人気となった。

出典: <https://www.traveloka.com/>

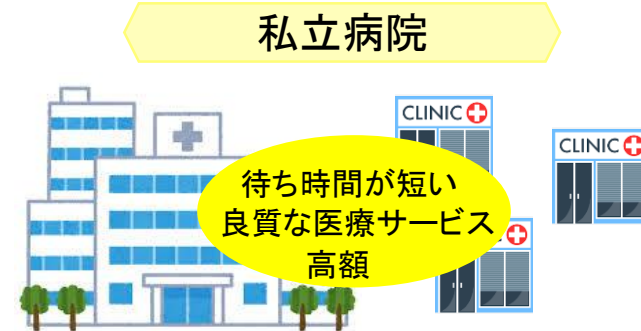
# (4)マレーシアスタートアップ企業の成功事例

マレーシアの医療課題

政府財源による公立病院と、一般私立病院の医療サービスの差が著しい



大きな隔たり



**BookDoc**  
Connect & Unite

<https://www.bookdoc.com/>  
創業: 2015年  
資金調達総額: 200万ドル  
拠点: マレーシア、シンガポール、香港、タイ、インドネシア

いつでもどこでも適切な医療プロを探して即診断予約ができる

ビジネスモデル

1. 待ち時間と誤診療を排除
2. 健康維持でお得なクーポン発行



Search & Book

医療種別と現在地を選択すれば、医療機関が検索でき、その場で予約も可能。



Go Activ.  
Get Rewards

運動時に装着する機器をAppsにつなぎ、運動を続ければ、お得なクーポンが発行される。

T E L E M E

<https://teleme.co/>  
創業: 2016年  
資金調達総額: 非公開 (MaGICプログラム参加)  
拠点: マレーシア、シンガポール、タイ

テレメディシン(遠隔診療)で患者と医師をつなぐ

ビジネスモデル

1. 医療チームとして患者をケア
2. 緊急ケアにリソースを集中



医師や専門医と、電話やチャットで病状について会話が可能。



薬剤師とも相談でき、メンタルケアや女性医療、健康管理についての相談先も完備。

## (5) 主なスタートアップ向けイベント情報



### グローバル・アントレプレナーコミュニティ・サミット2017

2017年に開催された、起業家や投資家がパートナー発掘や情報交換などを行うイベント、グローバル・アントレプレナーシップ・コミュニティ・サミット2017(GEC2017)



### 2017スタートアップフェスティバル

2017年に開催された。スタートアップ企業とイーコマース業界リーダーが商談を効率的に実施する、プロフェッショナルイベント。MaGICのCEOも登壇した。



### アントレプレナー・コンベンション2018

2018年9月に開催を予定している、起業家のためのビジネスネットワーク構築の場。6名のスピーカーの中にはMaGICのCEOも出席を予定している。



### セランゴール・スマートシティ&デジタルエコノミー・コンベンション2018

2018年9月に開催を予定している、セランゴール州政府主催のデジタルエコノミーを中心としたイベント。セランゴール州政府は同州を地域のイーコマース貿易ハブにしたい。



### スタートアップW杯・inマレーシア

サンフランシスコで行われている、スタートアップのためのワールドカップ。MDECがパートナーとなり、マレーシアでも開催が予定されている。(開催詳細は未定)

# Appendix

# 参考文献・情報サイト

## 調査報告書等

- NATIONAL ECONOMIC ADVISORY COUNCIL, “NEW ECONOMIC MODEL FOR MALAYSIA”, 2010/03: [[https://www.jccci.or.jp/NEM%20for%20Malaysia%20-%20Part%20I\\_0.pdf](https://www.jccci.or.jp/NEM%20for%20Malaysia%20-%20Part%20I_0.pdf)]
- 日本総合研究所 経済・政策レポートVol.17 No.66, “東南アジア主要国のスタートアップ促進策”, 2017/08 : [<https://www.jri.co.jp/MediaLibrary/file/report/rim/pdf/10061.pdf>]
- 独立行政法人労働政策研究・研修機構, “マレーシアの労働政策”, 2013/11: [[http://www.jil.go.jp/foreign/report/2013/pdf/2013\\_1114\\_01.pdf](http://www.jil.go.jp/foreign/report/2013/pdf/2013_1114_01.pdf)]
- THE WORLD BANK, “DataBank World Development Indicators Malaysia”, 2018: [<http://databank.worldbank.org/data/reports.aspx?source=2&country=MYS>]
- MaGIC, “Malaysian Startup and Social Entrepreneurship Ecosystem Report 2016”: [<https://s3-ap-southeast-1.amazonaws.com/mymagic-misc/Ecosystem+Report+V16-Pages.pdf>]
- MaGIC, “MALAYSIAN INNOVATION SUPERCLUSTERS”, 2017: [<https://s3-ap-southeast-1.amazonaws.com/mymagic-misc/Malaysian+Innovation+Superclusters+Report+06+12+2017.pdf>]
- Ministry of Finance Malaysia, “Budget”:
  - [<http://www.treasury.gov.my/pdf/budget/speech/bs14.pdf>]
  - [<http://www.treasury.gov.my/pdf/budget/speech/bs15.pdf>]
  - [<http://www.treasury.gov.my/pdf/budget/speech/bs16.pdf>]
  - [<http://www.treasury.gov.my/pdf/budget/speech/bs17.pdf>]
  - [<http://www.treasury.gov.my/pdf/budget/speech/bs18.pdf>]
- Starup Genome, “Global Starup Ecosystem Report 2018”, 2018/04: [<https://startupgenome.com/download-report/?file=2018>]
- THE GLOBAL ENTREPRENEURSHIP AND DEVELOPMENT INSTITUTE, “2018Global Entrepreneurship Index”, 2017/11: [[https://thegedi.org/wp-content/uploads/dlm\\_uploads/2017/11/GEI-2018-1.pdf](https://thegedi.org/wp-content/uploads/dlm_uploads/2017/11/GEI-2018-1.pdf)]
- Securities Commission Malaysia, “LIST OF REGISTERED VENTURE CAPITAL MANAGEMENT CORPORATIONS AS AT 31 JULY 2018”, 2018/07: [<https://www.sc.com.my/wp-content/uploads/eng/html/licensing/LoLI/VCMC.pdf>]
- Malaysia Coworking Spaces, “coworker”: [<https://www.coworker.com/Malaysia>]
- Think with Google, “e-Comony SEA with TEMASEK”, 2017/12: [[https://www.thinkwithgoogle.com/\\_qs/documents/5335/Final\\_TwG\\_APAC\\_TemasekGoogle.pdf](https://www.thinkwithgoogle.com/_qs/documents/5335/Final_TwG_APAC_TemasekGoogle.pdf)]
- 日本貿易振興機構 マレーシアにおける医療・社会福祉サービスに関する調査報告書 2014/01 : [[https://www.jetro.go.jp/ext\\_images/jfile/report/07001563/07001563\\_report.pdf](https://www.jetro.go.jp/ext_images/jfile/report/07001563/07001563_report.pdf)]  
[[https://www.jetro.go.jp/ext\\_images/jfile/report/07001563/07001563\\_3\\_report.pdf](https://www.jetro.go.jp/ext_images/jfile/report/07001563/07001563_3_report.pdf)]

## 情報Webサイト

- FINTEC MALAYSIA: [<https://fintechnews.my/>]
- VULCAN POST: [<https://vulcanpost.com/>]
- E27: [<https://e27.co/>]
- NNN ASIA: [<https://this.kiji.is/>]
- THE BRIDGE: [<http://thebridge.jp/>]
- TECHINASIA: [<https://jp.techinasia.com/>]
- Addlight journal: [<https://journal.addlight.co.jp/>]
- Free Malaysia today: [<https://www.freemalaysiatoday.com/>]
- Pagan research: [<https://paganresearch.io/>]
- Techcrunch.com [<https://techcrunch.com/>]



# 参考文献・情報サイト

## 政府Webサイト

- Ministry of Finance Malaysia: [http://www.treasury.gov.my/index.php/en/]
- Ministry of Communications and Multimedia: [http://www.kkmm.gov.my/]
- Ministry of International Trade and Industry: [http://www.miti.gov.my/]

## 政府関連機関・団体Webサイト

- MaGIC: [https://mymagic.my/]
- MDEC: [https://mdec.my/]
- SME Coporation Malaysia: [http://www.smecorp.gov.my/index.php/en/]
- 一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会: [https://jvca.jp/members/vc-members]
- Malaysia Venture Capital Management Berhad: [http://www.mavcap.com/]

## VC・スタートアップ企業Webサイト

- Sun SEA Capital: [http://sunseacapital.com/]
- SUNWAY Group: [https://www.sunway.com.my/]
- KK Fund: [http://kkfund.co/]
- HLB LaunchPad: [https://www.hlb.com.my/hlblaunchpad/]
- Digi Incub8: [http://www.digi.com.my/incub8/index.html]
- Grab: [https://www.grab.com/my/]
- JobStreet.com: [https://www.jobstreet.com.my/]
- Traveloka.com: [https://www.traveloka.com/]

## アクセラレータWebサイト

- Selangor Accelerator Programme: [https://www.sitec.com.my/sap2018/]
- Sunway iLabs Accelerator: [https://innovationlabs.sunway.edu.my/programmes/programmes-accelerator/]
- 1337 VENTURES: [http://www.1337accelerator.com/1337-accelerator/]

## イベント情報詳細

- GES MALAYSIA 2013: [https://www.facebook.com/events/556217434431399/]
- Global Entrepreneur Community Summit 2017: [https://www.facebook.com/gecommunityco/]
- 2017 Malaysia Startup Festival: [http://malaysiastartupfestival.com/]
- ENTREPRENEUR Convention 2018: [https://www.eventbrite.com/e/entrepreneur-convention-2018-tickets-47335205875?aff=ebdssbdestsearch]
- The Selangor Smart City & Digital Economy Convention 2018: [https://www.sdeconvention.com/]
- Startup World Cup in Malaysia: [https://www.startupworldcup.io/malaysia-event]



## セキユリティーズコミッション: 2018年7月31日付ベンチャーキャピタルマネジメント企業リスト

1. 1337 Ventures Sdn Bhd
2. 3P Infra Managers Sdn Bhd
3. 5M Investment Holding Ltd
4. 5 Pillars Ventures Sdn Bhd
5. Academia Capital Sdn Bhd
6. Amanie Capital Sdn Bhd
7. ACE Capital Management Sdn Bhd
8. AIMBN Holdings (M) Sdn Bhd
9. Arris Venture Management Sdn Bhd
10. Artem Ventures Sdn Bhd
11. AIPO Capital LLP
12. ACP Advisory Sdn Bhd  
(formerly known as Asia Agronomy Capital Advisory Sdn Bhd)\*
13. ASV Group Capital Berhad  
(formerly known as MGIP Capital Berhad)
14. Attacca Capital Sdn Bhd
15. Banyan Ventures Sdn Bhd\*
16. BTV Management Sdn Bhd\*
17. CIMB Private Equity Advisors Sdn Bhd
18. Cradle Seed Ventures Management Pte Ltd
19. Crescent Equity Management Sdn. Bhd.\*
20. Expedient Equity Two Sdn Bhd
21. Ficus Venture Capital Sdn Bhd
22. Firstfloor Capital Sdn Bhd
23. Firstfloor Capital CC II Ltd
24. FNW Capital Partners Sdn Bhd
25. Glenhill Capital Sdn Bhd
26. Goldis Capital Sdn Bhd
27. Hadrons Capital Partners Sdn Bhd
28. Infinity Capital Management Sdn Bhd
29. Ingenious Haus Sdn Bhd
30. Intelligent Capital Sdn Bhd \*
31. IntrasyS Sdn Bhd
32. Intres Capital Partners Sdn Bhd
33. Inventures PLT  
(formerly known as Liberal Track Sdn Bhd)
34. iSpring Venture Management Sdn Bhd \*
35. Kenanga Private Equity Sdn Bhd
36. Kumpulan Modal Perdana Sdn. Bhd.
37. LS Asia VC Sdn Bhd
38. Malaysia Venture Capital Management Bhd
39. Malaysian Technology Development Corporation Sdn Bhd
40. MIDF Amanah Ventures Sdn Bhd  
(formerly knowns as Amanah Ventures Sdn Bhd)
41. Mindhub Capital Sdn. Bhd.
42. MLSCF Management (Labuan), LLP
43. Muamalat Venture Sdn Bhd
44. Musharaka Venture Management Sdn. Bhd.
45. Netrove Partners Sdn. Bhd.
46. Netval Management Sdn. Bhd.
47. NewGen Capital Managers Sdn Bhd
48. NEXEA Angels Sdn Bhd
49. NTech Capital Management Sdn Bhd
50. Nuetree Capital Sdn. Bhd.
51. Pembangunan Ekuiti Sdn. Bhd.  
(formerly known as BPMB-NIF Modal Teroka Sdn Bhd.)
52. Photonics Venture Capital Sdn. Bhd.
53. Proventeus Capital Sdn Bhd
54. Questmark Capital Management Sdn. Bhd.  
(formerly known as Questmark Asset Management Sdn. Bhd.)
55. RHL Ventures Sdn Bhd
56. Shihab Capital Sdn Bhd
57. Sun SEA Capital Sdn Bhd
58. TBV Capital Sdn Bhd  
(formerly known as TinkBig Venture Sdn Bhd)
59. Teak Capital Sdn. Bhd.
60. Tech And Bio Incubator Sdn Bhd
61. Two Bit VC Sdn Bhd
62. Vida Managers Sdn. Bhd.
63. Vida Partners Sdn. Bhd.
64. V V P Advisors (Malaysia) Sdn Bhd
65. Xeraya Capital Sdn Bhd
66. Zenith Capital Partner Sdn Bhd  
(formerly known as Zen Capital Partner Sdn Bhd)

\* The company is currently inactive

本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。  
ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心がけておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロは一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。